

令和 7 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	8	学校名	県立日立北高等学校					課程	全日制	学校長名	清水 秀一					
教頭名	鈴木 隆一									事務室長名	新井貴信					
教職員数	教諭	42	養護教諭・養護助教諭	2	常勤講師	3	非常勤講師	5	実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	6	計	65
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		105	93	99	99	121	86			325	278	16			

2 目指す学校像

- (1) 全ての生徒が「学ぶ」喜びを実感し、自己実現を果たせるような「学び舎」をつくる。
- (2) 校訓「誠実・克己・創造」の実践に努め、豊かな創造性や進取の精神に満ちた校風を継承し、発展させる。
- (3) 学習活動と特別活動等との両立を推進し、生徒一人ひとりに自らの未来を切り拓く知性・能力を身につけさせる。
- (4) 生徒一人ひとりを大切に教育を実践し、生徒・保護者・地域住民に信頼される「地域に開かれた学校」づくりを推進する。

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	①豊かな創造性と進取の精神を備えた、意欲的に学ぶ自立した学習者の育成 ②多様な考え方を受け入れ、協働的に学ぶ姿勢を貫ける地域のリーダーの育成 ③未来を切り拓く知性と能力を身に付けるために、努力を続ける地球市民の育成
教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	①全ての生徒が「学ぶ」喜びを実感し、自己実現を果たせる「学び舎」の実現 ②生徒一人ひとりを大切に、進路実現にこだわったきめ細かな教育の実現 ③ICTを活用し、授業＋αの学習を主体的に実践する仕組みづくりの実現
入学者の受入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	①己に打ち克ち、学習活動と部活動・特別活動の両立を目指す生徒 ②誠実を重んじ、端正な服装と丁寧な言葉や態度を実践できる生徒 ③創造的であり、知的好奇心と他者に寛大な心を大切にできる生徒

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現状分析	課題
学習指導	生徒の学習態度は概ね意欲的であるが、学習への取組が消極的な生徒への、学ぶ力を喚起する指導法が求められる。	生徒が自ら課題を見だし、学習を継続する姿勢を育成するにはどのような指導が必要か。
進路指導	「守破離」に基づくキャリア教育を展開し、国公立大学現役合格者数は74名であった。一人ひとりの進路希望に応じた、個の力を伸ばす指導方法の研究が必要である。	未来を見据えた適切な職業観・勤労観を育成する指導をどうするか。
生徒指導	素直で真面目な生活態度の生徒がほとんどであるが、登下校のマナーやSNS等の使用法が乱れた生徒が一部見受けられる。	学校内だけでなく、あらゆる場面において自律した生活態度を育てるにはどうするか。
特別活動等	国公立大学合格者に占める部活動加入者の割合が下降（88.1%→81.1%）した。生徒会主体で学校行事の企画・運営が行われている。	生徒一人ひとりの個性や能力を伸長させ、学習と部活動・生徒会活動との両立が達成できる環境整備をしていく。
働き方改革	進路指導や部活動指導の充実のため、超過勤務が恒常的になっている。	各部・各学年間で円滑な連携と効果的な指導を図り、業務の縮減に取り組む必要がある。

5 中期的目標

- 1 生徒の進路希望に応じた学力向上を推進し、地域から信頼される学校として教育活動を展開する。
- 2 特別活動や部活動の活性化を通して粘り強い精神力や頑健な体力を養うとともに、自主性や社会性、奉仕の精神に富む人間を育てる。
- 3 端正な服装や丁寧な言葉遣いなど、道徳観や規範意識を備えた生徒の育成に努める。
- 4 生徒と教職員が〈建学の精神〉「継続は力なり」を共有し、相互に尊重し合う豊かな人間関係を構築する。
- 5 ホームページや「スクールガイド」を充実させ、開かれた学校づくりを目指し、中学校・地域との交流の機会を広げ、双方向の広報活動を展開する。
- 6 「茨城県県立学校の教育職員の業務量の適切な管理に関する規則」に基づき、ICTを効果的に活用して働き方改革を促進する。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 生徒の進路希望に応じた学力向上の推進 …主体的で深い学びの展開/AIに代替できない力の育成/ICTの活用、授業改善・研究の推進	1 習熟度別授業などの個に応じた指導を、柔軟かつ多様に導入し、基礎的な知識・技能の習得を図る。 KPI指標:授業満足度(知識・技能)平均値3.2(80%)以上 2 互見授業等を通して、思考力・判断力・表現力を育成する授業改善・研究を推進し、指導力向上に努める。 KPI指標:授業満足度(思考力・表現力)平均値3.2(80%)以上 3 進路希望に応じた適切な課題や深い内容を取り入れ、ICTの活用を推進する等、AIに代替できない自ら学び続ける力を育成する。
(2) 入りたい大学への積極的な挑戦 …キャリア教育を踏まえた計画的偶発性(体験)の仕掛け/生涯学ぶ力(含Re-skilling)の育成	4 個別面談を充実させ、生徒の自己理解の深化と自己受容を促し、生涯に渡って学びに向かう力を涵養する。 5 様々な進路行事の目的を明確化し、効果的な実践と振り返りを行うことで生徒の学習意欲を喚起し、適切な勤労観・職業観を育成する。 6 進路情報の収集と的確な提供に努め、生徒一人ひとりの進路に複数の教員がサポートする協力体制を構築する。 7 計画的偶発性を踏まえた体験的進路行事を推進すると共に、課外指導では、習熟度別講座等を取り入れて効果的な指導に努める。
(3) 「豊かな心」の育成 …多様性(Diversity)を認め合う力・共感力(Empathy)をもったグローバル人材の育成	8 環境教育やボランティア活動を推進し、多様性を認め合える心と他者への思いやりを育み、いじめには組織全体で迅速に対応する。 9 相手の立場になって考え、行動できる共感力(Empathy)と人間性を育み、SNS使用の自己管理能力を高める。 10 国際理解教育を推進し、互いの違いを認め、グローバルな視点を持ちローカルな社会でも活躍できる人材育成を目指す。 11 コンプライアンスを遵守するとともに、体罰・暴言によらない指導を実践する。 12 特別な配慮を要する生徒への、共通理解を図り、合理的配慮や適切な支援について研修を行い、対応力を向上させる。
(4) 学習活動と部活動・特別活動の両立 …文武不岐に挑戦(Challenge)する力・躓きからの回復力(Resilience)・自己肯定感の育成	13 部活動の一層の活性化を図り、活動として、挑戦する力・躓きからしなやかに回復する力(Resilience)・自己肯定感を育む。 14 特別活動(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)を充実させ、キャリアパスポートを活用し規律や協働性を養う。
(5) 健康と安全への配慮 …生徒への伴走/寄り添い(Put one's feet into someone's shoes.)、働き方改革の推進	15 健康教育の推進や環境整備を通して、生徒及び教職員の健康の維持・増進を図る。 16 生徒への寄り添いを重視して、生徒相談の充実に努め、スクールカウンセラーと連携し、自身や他者の生命を大切に思う心を育む。 17 学校行事の効果的配置や校務の適正化・効率化を推進することにより、教員の働き方を改革し、更なる教育活動の有効化を追求する。
(6) 情報公開の積極化 …魅力の発信と広報体制の充実、志願者確保、「泥臭さは日北の専売特許」のアピール	18 学校評議員会・PTA・同窓会等との連携を強化し、生徒の活躍ぶりの広報と学校の情報公開に努める。 19 学校説明会(夏・秋)の内容を充実させ、中学校・学習塾等への訪問を積極的に実施し、魅力の発信と志願者数確保に努める。 20 ポスター・スクールガイドの内容を刷新し、ホームページの更新頻度を高め、広報体制を充実させる。 21 「学年だより」「学級通信」「進路情報」「保健だより」等を通して、必要な情報を生徒・保護者に提供する。
(7) 今後のビジョンの具体化と、ビジョンに沿った教育活動の展開 …地域と連携し、地域に愛されるグローバル(Global+Local)な高校へ	22 本校の将来像を見据え、グランドデザインに基づきグローバル(Global+Local)な教育活動を展開する。 23 地域の中の学校として連携を進めつつ、地域に愛される普通科高校の在り方について検討を進める。